

平成21年12月期 第1四半期決算短信

平成21年5月8日

上場会社名 株式会社 フジオフードシステム
 コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 正弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山根 寿徳
 四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

TEL 06-6882-0851

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第1四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第1四半期	5,315	—	315	—	291	—	64	—
20年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第1四半期	1,420.59	1,419.53
20年12月期第1四半期	—	—

(注)平成20年12月期は、連結損益計算書は作成しておりませんので、平成20年12月期の連結経営成績、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第1四半期	14,911	2,549	17.0	56,371.12
20年12月期	14,938	2,587	17.3	57,235.47

(参考) 自己資本 21年12月期第1四半期 2,541百万円 20年12月期 2,580百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
21年12月期	—	—	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	10,679	—	652	—	578	—	49	—	1,088.35
連結累計期間	21,744	—	1,302	—	1,156	—	205	—	4,566.57

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注)平成20年12月期は、連結損益計算書を作成しておりませんので、平成20年12月期の対前年同四半期増減率および対前期増減率は記載しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第1四半期 45,080株 20年12月期 45,080株

② 期末自己株式数 21年12月期第1四半期 一株 20年12月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年12月期第1四半期 45,080株 20年12月期第1四半期 一株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の運用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格が落ち着きを取り戻す一方で、世界的な金融危機の拡大による企業収益の悪化や設備投資の減少、更なる株価の下落から個人消費の抑制傾向が一段と高まっております。

外食業界におきましても、景気動向の先行き不透明感から節約志向が高まり、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下で当社グループは、今年よりスタートしたフランチャイズ全店舗を対象とした指導業務、グループ全体の業績改善に向けての組織変更を行いました。また、既存店への投資活動として郊外型まいどおおきに食堂の店舗改装を昨年に引き続いて行いました。直営事業の新規出店としまして、まいどおおきに食堂からの業態変換店舗となる「つるまる 北堀江」、新業態のスペインバル「TABERNA バルセロナ」、追手門学院大学内に当社として初めての学生食堂である「追手門食堂」の出店を行いました。FC事業においては、指導業務のスタートと同時に、新たなフランチャイズ展開ブランドであります「浪花麺之庄 つるまる」を中心に新規加盟活動に注力しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計年度における売上高は53億15百万円、営業利益3億15百万円、経常利益2億91百万円となりました。また、店舗閉鎖損及び減損損失等の特別損失1億46百万円を計上した結果、四半期純利益64百万円となりました。なお、この特別損失の計上は、期首の計画の範囲内です。当社グループでの当第1四半期連結会計年度末の店舗数は741店舗（直営店265店舗、FC店470店舗、海外店6店舗）となりました。平成21年3月31日未現在の当社グループの店舗数は以下のとおりです。

	直営店(国内)	直営店(海外)	FC店	合計
まいどおおきに食堂	132	3	413	548
神楽食堂 串家物語	28	—	23	51
手作り居酒屋 かっぼうぎ	25	—	32	57
浪花麺乃庄 つるまる	20	—	1	21
その他	60	3	1	64
合計	265	6	470	741

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は26百万円減少し、149億11百万円となりました。流動資産は前連結会計年度から2億12百万円増加し、固定資産は2億47百万円減少しております。固定資産が減少した主な理由は、店舗撤退により有形固定資産の建物、敷金・保証金等が減少したためであります。

また、負債および純資産についても同額減少しておりますが、これは主に未払金の減少による流動負債の減少及び配当金の支払いによる利益剰余金の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して2億90百万円増加し、34億90百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は3億33百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が1億46百万円になったこと及び非現金支出である減価償却費2億4百万円になったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1億22百万円の支出となりました。主な要因は、直営店の新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出1億40百万円になったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は75百万円の収入となりました。主な増加要因は、長短借入金及び社債の発行による収入9億35百万円、長期借入金の返済による支出6億17百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年12月期の業績予想につきましては、平成21年2月16日発表の業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法により算定しております。

③ 税金費用

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

③ 「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準第16号）を当第1四半期から適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上することにしております。

また、リース資産の減価償却方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、当第1四半期累計期間において新たな所有権移転外ファイナンス・リース取引が発生しなかったため、損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,804,160	3,513,620
売掛金	433,828	419,314
たな卸資産	88,974	93,755
繰延税金資産	349,645	349,645
その他	952,705	1,035,433
貸倒引当金	△39,038	△33,546
流動資産合計	5,590,275	5,378,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,866,898	5,971,932
減価償却累計額	△1,863,881	△1,807,362
減損損失累計額	△183,260	△179,660
建物及び構築物（純額）	3,819,755	3,984,908
工具、器具及び備品	1,869,782	1,855,490
減価償却累計額	△1,176,739	△1,124,223
減損損失累計額	△19,733	△19,721
工具、器具及び備品（純額）	673,309	711,546
土地	137,272	137,272
建設仮勘定	71,445	23,000
その他	41,653	41,902
減価償却累計額	△30,188	△29,690
その他（純額）	11,464	12,212
有形固定資産合計	4,713,247	4,868,939
無形固定資産	51,913	56,477
投資その他の資産		
投資有価証券	331,128	346,051
繰延税金資産	390,281	390,281
敷金及び保証金	3,262,439	3,334,646
その他	788,425	787,784
貸倒引当金	△242,407	△241,841
投資その他の資産合計	4,529,868	4,616,922
固定資産合計	9,295,028	9,542,339
繰延資産	26,334	17,920
資産合計	14,911,638	14,938,483

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	858,849	886,035
短期借入金	295,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	2,383,867	2,362,705
未払金	1,193,266	1,275,949
未払法人税等	81,989	53,683
その他	1,102,635	1,103,765
流動負債合計	5,915,609	5,832,139
固定負債		
社債	710,000	360,000
長期借入金	4,644,100	4,976,986
その他	1,092,812	1,182,217
固定負債合計	6,446,913	6,519,203
負債合計	12,362,522	12,351,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,692	1,155,692
資本剰余金	1,035,439	1,035,439
利益剰余金	403,040	429,159
株主資本合計	2,594,172	2,620,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△60,166	△45,243
為替換算調整勘定	7,203	5,127
評価・換算差額等合計	△52,962	△40,115
新株予約権	5,271	4,022
少数株主持分	2,634	2,941
純資産合計	2,549,115	2,587,140
負債純資産合計	14,911,638	14,938,483

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
売上高	5,315,673
売上原価	1,763,971
売上総利益	3,551,701
販売費及び一般管理費	3,236,490
営業利益	315,211
営業外収益	
受取利息	1,539
受取家賃	46,147
その他	10,776
営業外収益合計	58,463
営業外費用	
支払利息	43,836
社債利息	2,454
賃貸収入原価	32,848
その他	3,250
営業外費用合計	82,391
経常利益	291,284
特別利益	
貸倒引当金戻入額	778
特別利益合計	778
特別損失	
店舗閉鎖損失	90,700
減損損失	26,543
その他	28,796
特別損失合計	146,041
税金等調整前四半期純利益	146,021
法人税、住民税及び事業税	82,287
少数株主利益	△306
四半期純利益	64,040

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成21年1月1日
 至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	146,021
減価償却費	204,076
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,056
受取利息及び受取配当金	△1,539
支払利息	43,836
社債利息	2,454
株式交付費償却	535
社債発行費償却	384
店舗閉鎖損失	90,700
減損損失	26,543
売上債権の増減額(△は増加)	△12,240
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,818
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,539
預け金の増減額(△は増加)	△6,318
未収入金の増減額(△は増加)	105,657
立替金の増減額(△は増加)	△12,785
前渡金の増減額(△は増加)	△3,592
未払金の増減額(△は減少)	△130,582
前受金の増減額(△は減少)	△10,505
未払消費税等の増減額(△は減少)	34,111
その他	△48,544
小計	411,549
利息及び配当金の受取額	1,539
利息の支払額	△46,765
法人税等の支払額	△33,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	333,277
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△65,483
定期預金の払戻による収入	65,438
有形固定資産の取得による支出	△140,608
固定資産の除却による支出	△26,360
貸付けによる支出	△22,000
貸付金の回収による収入	450
長期前払費用の増減額(△は減少額)	△5,010
敷金及び保証金の差入による支出	△12,060
敷金及び保証金の回収による収入	84,354
その他	△1,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,630

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成21年1月1日
至 平成21年3月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	145,000
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△617,785
社債の発行による収入	490,460
社債の償還による支出	△125,000
割賦債務の返済による支出	△109,402
配当金の支払額	△8,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,666
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	290,493
現金及び現金同等物の期首残高	3,200,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,490,609

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）

	直営事業 (百万円)	F C事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,768	547	5,315	—	5,315
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,768	547	5,315	—	5,315
営業利益	227	305	532	△217	315

(注) 1. 事業区分の方法

内部管理上採用している事業別の区分に基づきセグメンテーションを行っております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

直営事業 当社直営店舗における売上高及び営業利益

F C事業 当社フランチャイズ店舗より受領する加盟金、ロイヤリティ、店舗運営に必要な設備・備品などの売上高及び営業利益

3. 「四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用しております。これによるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間（平成21年1月1日 至平成21年3月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、「参考資料」は前四半期に係る個別の四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	5,334
II 売上原価	1,836
売上総利益	3,497
III 販売費及び一般管理費	3,208
営業利益	289
IV 営業外収益	55
V 営業外費用	84
経常利益	259
VI 特別利益	—
VII 特別損失	401
税金等調整前四半期純利益	△141
税金費用	41
四半期純利益	△100

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△141
減価償却費	228
貸倒引当金の増加額	△7
受取利息及び受取配当金	△2
支払利息	40
社債利息	3
株式交付費償却	0
社債発行費償却	0
店舗解約損	399
売上債権の減少額	125
たな卸資産の減少額	5
店舗売却に係る固定資産減少額	9
仕入債務の増加額	△33
未収入金の減少額	△57
未払金の増加額	233
未払消費税等の増加額	△46
その他	56
小計	812
利息及び配当金の受取額	2
利息の支払額	△48
法人税等の支払額	△109
営業活動によるキャッシュ・フロー	657

	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
区分	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△102
定期預金の払戻による収入	168
有形固定資産の取得による支出	△314
固定資産の除却による支出	△104
投資有価証券の償還による収入	10
貸付による支出	△10
貸付金の回収による収入	2
敷金・保証金の支払額	△107
敷金・保証金の返還による収入	43
その他	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入による収入	1,700
長期借入金の返済による支出	△778
社債の償還による支出	△125
割賦購入未払金の返済による支出	△111
配当金の支払額	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	677
IV 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	917
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,923
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,841